第5問解答解説 小売業におけるマーケティングリサーチ Check! ☑ ☑ ☑

- ア. 6 販売効率の分析では、販売員や広告、流通経路の分析を通して、マー ケティング活動の有効性や課題をあきらかにします。
- 環境の分析では、競争、景気、社会環境など、小売業の経営に影響す イ. 8 る**外部環境を調査、分析し**、将来の経営に役立つようにします。
- ウ. 7 顧客層の属性とは、自店で買い物をする顧客のライフスタイルや年齢、 家族構成、性別、職業、所得水準などをいいます。
- 販売効率の分析のうち、広告の分析では、**実施した広告が顧客の購買 I.** 10 にどのくらい影響したか、自店の利益にどのくらい貢献したかといっ た広告の効果を測定します。
- オ. 5 政府の政策や法的規制といった社会環境の変化は、小売業の経営に影 響する外部環境の1つです。



マーケティングリサーチとは市場調査のことです。小売業では、自店を **キラリ** 取り巻く環境の状況や変化について情報収集し、集めた情報を分析、加 工、解釈して、経営に役立てる目的で行われます。

第6問 解答解説 小売業が展開する販売促進

Check!

- ア. 6 プル戦略は来店促進を主目的とし、広告や広報に重点を置く方法です。 ※第71回第3問キラリ point 参照
- **1.9** 購買促進や売上増加を主目的とし、人的販売や狭義の販売促進策を組 み合わせて実施する方法をプッシュ戦略といいます。
- パブリシティは、マスメディアに自店の活動をニュースや記事として ウ 10 無料で取り上げてもらうことをねらった情報提供活動です。
- **I.** 3 人的販売とは、**販売員が顧客に対して直接、口頭で情報提供などを行** う販売活動のことです。
- プレミアムとは**畳品やおまけのこと**です。プレミアムの付与は、顧客 オ. 8 の購買意欲を直接的に刺激することをねらっています。

第7問 解答解説 売場づくりの基本



- ア. 5 フロアゾーニングの構築では、顧客が楽しく、快適に、短時間で必要な商品を関連づけて買えるように設定します。
- **イ. 2** フロアゾーニングとは、**どこの売場にどんな部門**(品群をまとめた大分類)**を貼りつけるか**という部門割当の作業です。
- **ウ. 3** フロアレイアウトは、フロアゾーンごとに<mark>品種</mark>を割り振っていく作業です。
- エ. 6 品種とは、品群(例:飲料水)を細分化した分類単位(例:炭酸飲料、果汁入り飲料)をいいます。品種は同一の使用方法に属する品目の集合体です。
- **オ.9** フロアレイアウトでは、顧客の来店目的や購買心理などを考慮し、買いやすい品種を組み合わせて連続的な売場をつくるようにします。



フロアゾーニング(部門割当)では、どこにどんな部門があるのか一目でわかるようにすること、フロアレイアウト(品種の割り振り)では、多くの売場を興味深く、効率的に回って立ち寄ってもらうことが基本原則です。

第8問解答解説 店舗の照明



- ア.6 店舗や売場全体を均等に照らす照明を全般照明といいます。
- **イ.8** ルーバーとは埋込み型の照明についている反射板(羽板)です。
- ウ. **7** 重点照明にはスポットライト、ダウンライト、フットライト、ペンダントライトなどの照明器具が用いられます。
- **エ. 10** 重点照明は、ディプレイなど特定の場所や商品を目立たせるための照明です。
- **オ. 1** インテリアとしての装飾効果を重視する照明を<mark>装飾</mark>照明といいます。



店舗の照明は①全般照明、②重点照明、③装飾照明、④省エネ照明の4つに分類されます(テキスト 211 ページ参照)。④の省エネ照明とは、店内の照明の点灯箇所を見直し、間引きや調光によるライトダウンを行うなど、照度管理によって消費電力を抑えるというものです。